

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年5月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679100166
法人名	有限会社 ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム 港ヶ丘
所在地	鹿児島県大島郡徳之島町亀徳2239番地 (電話) 0997-81-1215
自己評価作成日	平成29年3月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎朝、日の出とともに海を眺めながら手を合わせ、今日一日の健康と幸せを祈りながら一日が始まります
港ヶ丘理念と介護理念を毎朝唱和し、職員一人ひとりが入居者の思いを大事に支援していて明るく笑いが絶えない施設です

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは地域包括支援センターと協力し、集落ごとに認知症サポーター養成講座などで専門的知識を活かし、地域における認知症の理解について取り組みを行っている。
- ・職員からの意見や提案が多く出され、折り紙で利用者数名と共に一つの作品を成し遂げ、完成する喜びを味わっている。
- ・利用者個々の力量を活かして調理場で食材を切ったり炒めたり、餃子の中身の具を入れてもらったりして、楽しみながら食事を行っている。
- ・職員は母体法人のグループホーム協議会や施設間の研修などに積極的に参加し、サービスの質向上や自己研鑽に取り組んでいる。
- ・職員間のチームワークが良く、利用者中心の認知症ケアの実践に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日、朝の申し送り時、理念の唱和と介護の心得を唱和し日々のサービス提供に反映させるように努めている	事業所独自の理念は全職員で考えて作成しており、ホームの3ヶ所に掲示している。毎朝の理念の唱和で利用者のあるがまを受け入れ笑顔で接している。全員が理念を把握して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	スーパーへの買い物や入居者の地元へのドライブやに出掛けたり、家族にも協力を頂き文化会館での催しの観覧等はあるものの日常的な地域と交流はあまりない	中学校の体験学習の受け入れを行ったり、学校の運動会やトライアスロンを見物に行き集落の人達との会話をして楽しんでいる。地域の人から野菜の差し入れ等もある。地域住民や行政の職員と一緒に認知症への理解を深めてもらう為に寸劇を行ったりして地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	入所申し込みの問い合わせに来られた方の相談に乗ったり行政などの催しに参加させてもらい認知症の人の理解や支援の方法、事業所の役割を話す機会を頂いている 地域に少しでも貢献できればと思っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回運営推進会議を行い入居者の近況報告をし困りごとに対して話し合いをしアドバイスを頂きサービスに活かすようにしている</p>	<p>運営推進会議は定期的開催し外部評価結果報告やホームの状況を報告したり、参加者から認知症の症状についての質問が出されそれに応じたり、民生委員から地域行事などが紹介され、出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎月、月初めに三ヶ町に出向き入居者の現状報告を行っている</p>	<p>町の担当者とは利用者の更新申請や状況報告をして相談に乗ってもらっている。地域活動にも色々協力してもらい気軽に相談している。管理者は町主催の認知症サポーター養成講座の講師を引き受けるなどの協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>手引書を参考にしながら職員会議で勉強会を開いているので拘束禁止の具体的な行為を全職員が理解できている 外部からの侵入防止の為、夜間のみ玄関や窓の施錠と入居者の状態により転落防止の為にベッド柵をしている</p>	<p>身体拘束をしないケアのマニュアルを基に、申し送り時に拘束について話をしたり、月1回の職員会議での勉強会や職員間でも拘束に関して意見を交わしている。日中の玄関の施錠は行っておらず利用者の外出に職員が付き添って事業所内外を自由に行動している。言葉による拘束についても職員間で研修を通して配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>手引書を参考にしながら職員会議で勉強会を開いたり日々困難な場面に遭遇した際に職員同士解決策を話し合い困難と思える事を一人で抱え込まないように職員の言動や行動の把握に努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護や成年後見制度について学ぶ場や研修の機会は少ないが入居者の方々の尊厳を大切に尊重する気持ちを持ちながら支援している</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は納得いくまでケアの方針や取り組みについて説明し解約時には不安のないように話し合いをしている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者の暮らしぶりや健康状態、受診状況、小遣い管理状況等、定期的に家族へ報告し意見や要望を聞き運営に反映できるようにしている 意見箱も設置している</p>	<p>利用者からは日々の暮らしの中で思いを聞いている。家族からはホームに来所の際に意見や要望などを聞いている。利用者の嗜好品を把握したり、食事時間の介助について等の要望があり、出された意見や要望はミーティングで話し合い運営に反映させている。意見箱も設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎朝の申し送り時や職員会議の際に職員の意見を聞いたり、個別にも意見や思いを聞く機会を設けている</p>	<p>職員から意見や提案が出され、勤務表の見直しを行い利用者に関わる時間が多く持てるようになったり、職員の休憩の取り方について検討し改善している。意見や提案を運営に反映できるよう協力体制を図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務状況を把握しスムーズに業務を行い時間内に帰れるように、職場の環境整備に努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>島内での研修にはできる限り参加できるようにシフト調整したり手引書を参考に職員会議の際にも勉強会を行い各自がスキルアップできるように努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との情報交換で知りえた情報を支援に取り入れ質の向上に取り組んでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前の見学や行事、生活面等はもちろんの事本人、家族の要望等、話し合い安心して生活できるようにしている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の要望や不安なこと等、何でも相談できるように、話しやすい環境作りや関係づくりに努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人家族が必要としている支援を十分に話し合い本人にとってより良いサービスが提供できるように努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は本人とのコミュニケーションを図り本人の持っている能力や思いを十分にくみ取り安心して過ごして頂けるように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回本人の生活の様子や記録を家族に報告し電話や面会することで本人と家族の絆を大切にしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、親族との面会や馴染みの場所へドライブに出掛けたりしている	利用者の居室に友達が遊びに来られた時にお茶を入れて写真を撮ったりして喜んでもらっている。利用者の誕生日に家族からの電話や面会・外食を楽しんでいる。3ヶ月に1回馴染みの理容師に来てもらったり、家族がお墓参りに連れて行ったり、馴染みの人や場所との関係を大切にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の個性や特性を行事やレクリエーションで見だし利用者同士が楽しくかかわれるようにしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族、友人と会った際、近況を聞いたり、近くを通った際には施設にも遊びに来ていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の様子、会話、仕草、表情などからどうしてほしいのか感じ取り把握に努めている	レクリエーションの時に若い頃の話の聞いたり、家族や友人から聞き取り、利用者個々の思いや暮らし方の希望・意向の把握に努めている。困難な場合は、利用者への声かけを大切にしてい、家族や友人から本人の思いを聞き、現在の事を話しかけながら、本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、家族やサービス提供先から情報収集できているか入所までの経過の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	共同生活の中で本人らしさを発揮できるよう現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人家族、看護師と話し合い現状報告しながら本人の意向に沿った介護計画を作成するようにしている	介護計画は家族や関連機関にも聞き取りを行い、家族も担当者会議へ参加して作成している。モニタリングは3ヶ月に1回行っている。トイレ誘導や歩行訓練の要望があり支援計画に載せて作成している。身体等に状況の変化があった時はその都度変更している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を介護日誌、個別日誌に記録し職員全員が共有し実践や介護計画の見直しに役立っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状態に合わせてドライブや買い物、ホーム周りの散歩など一緒に行き要望に応えられるようにしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方の協力を得たり、買い物に出掛けたり楽しんでもらえるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月の訪問診療、定期的な訪問看護、特変時の病院受診、本人家族の納得のうえ適切に医療が受けられるように病院との連携もとれている	本人・家族の希望するかかりつけ医での受診を支援している。協力医へは管理者が付き添っての受診支援を行っており、特別な診察は家族が行っている。緊急時は家族と職員が付き添っている。歯科医が口腔ケアチェックで訪問している。受診の結果は家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>本人の状態の変化を随時、訪問看護師に電話で相談し適切な受診や看護が受けられるように支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者が入院した場合には病院のソーシャルワーカーと常に連絡を取り合い相談や情報交換、リハビリ見学、又退院に向けて話し合いをしたりしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方については入所時の説明で行っており、本人家族も納得している。その際にグループ内の他の施設に入所の依頼をしたりの支援を行っている</p>	<p>終末期については入居時に本人・家族に説明している。家族からの要望を受けて、医療機関と家族の協力体制を整えて支援している。ホームは家族の協力も頂きながら看取り支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年1回、救急隊による講習を受け急変時や事故発生時に備えたり職員会議や朝の申し送り時、入居者の体調変動時、職員同士で急変や事故を想定したシュミレーションを行ったりしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年1回、火災や地震を想定した避難訓練を全職員と近隣住民にも参加を呼びかけて行い協力体制を築いている</p>	<p>年2回、町全体の避難訓練や事業所独自の火災避難訓練を地域住民の協力を得て実施している。停電に備えて懐中電燈を多数準備している。ペットボトル20ℓの水や冷凍おにぎり・カップラーメンなどを備蓄している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置している。夜間の対策の為、夜勤以外に自宅待機の当番などの体制も整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者への敬意や尊敬を持ち表情を確認しながらその時々合った言葉かけをしている</p>	<p>プライバシーに配慮しながら声かけしている。職員は利用者の支援時には不適切な言葉かけを行わない事を常に心に留めながら対応している。管理者は職員の言動に気づいた時は直ぐ注意している。利用者の人前での失禁時には言葉かけを工夫してトイレや居室に誘導している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>その日の体調状態を確認しながら一人ひとりの要望に沿って笑顔で過ごしてもらえるように支援している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの、その日の体調や要望に沿って過ごしていただけるように支援して</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>日々のっ整容、入浴時、出掛ける際、気温などに合わせ衣服の選択をし定期的な散髪で身だしなみを整えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しく美味しく食事ができるよう味付け季節感に工夫し職員と一緒に食事ができるようにしている	利用者は野菜の下拵えや皮むき・お盆拭きなどの食事準備や片付けを職員と一緒に楽しみながら行っている。週2回、利用者と一緒に食材の買物に外出している。園庭でのお茶やおやつを楽しんだり、家族と一諸の夕食に出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え食事記録を確認し偏らないように心がけている又一人ひとりの水分量食事量の記録も行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は一人ひとりに声掛け歯磨き誘導し義歯の仕上げ磨きは職員が行っている歯科との連携もとれており不具合があれば訪問歯科に来ていただいている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間はPトイレを使用している方も日中はトイレ誘導し排泄している リハビリパンツ、オムツの使用を減らし自立に向けた支援を行っている（全員、日中はトイレ誘導）	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、排泄の自立に向けた支援を行っている。日中はトイレ誘導を行っている。入居前、紙パンツ使用だった利用者がトイレ誘導で布パンツに切り換わったり、失禁があった利用者もトイレでの排泄が可能になった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表をチェックし便秘の原因に及ぼす影響を理解し水分補給を心がけ職員と共に運動身体を動かす様一人ひとりに応じた予防に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの体調チェックをし本人希望を取り入れいつでも入浴できるように心がけている	週3回午前中に入浴が楽しめるよう支援している。利用者からの要望にも応じている。夏場はシャワー浴を楽しむ利用者が殆どである。入浴中に職員との会話や島唄を唄ったりして楽しんでいる。入浴をいやがる利用者は午後か翌日に入浴できるように工夫して声かけをしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動の中にレクとして体操や散歩を取り入れ安眠が取れるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の効用、副作用の理解に努めている 薬の準備は2名で確認を行い服用時は手渡しから薬飲までしっかり確認している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誕生日会や季節の行事等にボランティアの方に協力依頼したりして楽しんでもらったり、調理等の家事手伝いを本人のできる範囲で役割を持たせ気分転換を図れるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ドライブ、散歩等取り入れ本人の希望にそえるように努めている 家族の方にも外出の協力を頂いている	日常的には事業所の近くを散歩して戸外の空気を肌で感じている。入居者の介護度が高くなり、全員での外出は難しくなっているが、庭に出てテーブルを囲みお茶会をしたり、近くの公園まで散歩に出かけたりしている。月1回島内ドライブや花見も楽しんでいる。年間計画で遠出の外出を予定している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを事務所で預かり病院支払いや日用品の買い物を職員がしたり一緒にしたりしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族、知人との電話のやり取りは頻繁に行っている 手紙は相手からは来るが、電話のみで、やり取りまではできていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの壁絵や写真を飾り季節感を感じられ、状態に合わせてトイレの位置など工夫し安全に居心地良く過ごせるようにしている	リビングでは、天候に応じてこまめに室温調整を行い、壁絵や季節ごとに写真・花を飾っている。廊下のベンチに腰掛け日光浴なども楽しんでいる。入居者の集う食堂では、季節ごとに梅や桜・ススキなどテーブルに飾り島唄を流すことで心地良く過ごせる工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆっくりと過ごせるよう廊下に長いすを置き窓から海を眺めたり日光浴を楽しみながら会話ができるようにしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や寝具等を持ち込み本人の要望を聞きながら配置を決め写真やお位牌を置いたりして居心地良く過ごしてもらるように工夫している	自宅で使っていたタンスや仏壇・遺影などを持ち込み、落ち着いて過ごせる様に支援している。壁には本人の要望を聞きながら、家族の写真を貼ったり好きな飾り付けをして、居心地良く過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	一人ひとりの残存能力を引き出せる家事手伝いやレクリエーションに参加してもらい余暇活動に合わせ日々、安全で自立に向けた生活を送れるように工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない